

第1回佐波川かわまちづくり協議会議事録

日 時 平成25年6月28日(金)14:30~16:10

場 所 市役所1号館3階南北会議室

◆出席委員：21名

会 長	土 井 章	
佐波地域自治会連合会会長	大 村 崇 治	
華城地域自治会連合会会長	河 村 浩	
右田地域自治会連合会会長	河 村 均	
松崎地区青少年育成連絡協議会会長	河 杉 憲 二	
佐波地域青少年育成連絡協議会会長	東 福 俊 明	
華城地区青少年育成連絡協議会会長	田 中 賢 治	代理 福田信義副会長
右田地域青少年育成連絡協議会会長	藤 村 道 夫	
ホタルの夕べ実行委員会	中 司 達 美	
佐波川に学ぶ会	吉 松 忠 直	
水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊	吉 野 くに子	
防府市立右田中学校校長	野 村 和 芳	
防府土地改良区	屬 宣 義	
佐波川漁業協同組合	清 水 玉 夫	代理 吉井正一
防府市民	浅 井 典 子	
防府市民	田 中 里 美	
防府市民	田 村 栄 良	
防府市民	藤 井 康 太 郎	
観光振興課	沼 田 瑞 恵	
企画政策課	森 川 智 子	
文化財課	吉 瀬 勝 康	

◆傍聴人：1名

◆次第

- 1 開会
 - 1) 市長挨拶
 - 2) 委員紹介
 - 3) 会長・副会長選出及び挨拶
- 2 かわまちづくりについて
 - 1) かわまちづくり支援制度
 - 2) 他市の事例
- 3 佐波川かわまちづくり計画
 - 1) アンケート結果について

- 2) 計画区域 (案)
- 4 その他
 - 1) 今後のスケジュール
- 5 閉会

◆質疑応答

- A委員 私は、上右田に住んでいて、新町の自治会長も兼ねている。
昭和22年に生まれ、その頃の佐波川には堤防も無く、昭和26年7月の大雨で洪水が起こった。その後、当時の建設省が堤防を施工している。私自身、高校まで、佐波川で育ち、小学中学は佐波川で泳ぎ、魚を取り生活してきた。
区域について白坂総合堰から大崎橋付近までという説明でしたが、人口密集地を対象としたまちづくりを進めるのも理解できるが、もう少し広げて、この地域にはこのような施設があるとか、そのようなまちづくりを進めて欲しい。
約30年前、河川敷地を使って上右田の運動会を実施していたが、ある日、当時の建設省から使用できないと言われ、運動会が実施できない状況となった。
地域特性を加味しながら区域を決めるのではなく、柔軟な対応をしていただきたい。
- 会長 他にございませんか。
- B委員 若者に受け入れられるネーミングが大切だと思う。例えば「せせらぎ通り」や「水鳥の遊び場」、汽水域では「緑の楽園」。
若い人の意見、知恵、好感が持てるものが大事ではないかと思う。
昔を懐かしむのも良いが、年配の方の意見を聞くより、後を引き継ぐ未来のある若者の意見を大事にした方が良い。
- 会長 かわまちづくりでは、河川空間とまちの空間の融合を図るという観点からスタートしている。区域を広げすぎるのは如何かと思うが。
他に意見はありますか。
- C委員 高校までは防府市に住んでいて、45年間東京に住み、今年の秋にUターンしてきた。
市民公募に応募し、その時、小論文を書いた。佐波川の上流から下流までの壮大な計画を書いた。
先般、この地域を自転車で散策し、一番整備が進んでいるのが、本橋上流の区域であった。芝、駐車場、桜堤、疎水等、色々なものが集約されていた。
構想は上流から下流までで良いが、現実には予算の確保の観点から非常に難しい。
施工区域、施行年度を分けて、やらざるを得ない。
今まで、色々な川を見てきた。知識や知恵はあるので機会があれば発言したい。
- D委員 掘削範囲がどの程度、どれ位、施工するのか。浅い所から深い所までやるのか。白坂の辺りは深くて、昔、溺れた人もいると聞いている。安全で安心して遊べる所が良いので、掘削の状況によっては華城付近まで範囲に入る。

私自身も孫を連れて、ジャブジャブ池付近で遊んでいる。上流も浅ければ色々出来るのではないか。

会長 事務局、回答をお願いします。

国土交通省 白坂総合堰から上流は土砂が堆積しているのので、治水上の流下能力を確保する観点から水中部より掘削する。

本橋より下流では水際より上に見える部分を掘削する。そこは、水際を残しながら草木を伐採し、河原を出すイメージ。

D委員 水中部の掘削はどれ位か。

国土交通省 本当に深い部分はそのままで、中洲になっている箇所水中部より掘削する。

E委員 本橋の上にある池は「ジャブジャブ池」といい、そこを拠点として活動している。7月26日は河川敷とジャブジャブ池で「カレー大作戦」を行う予定。

昔は土砂がなくて活動しやすかった。手作りのカヌー、ゴムボート、たらい舟等を浮かべて遊んでいた。最近は、葦や水藻が繁茂し、活動範囲が狭くなってきた。昨年、国土交通省にお願ひし、支川の清水川において、葦を取り除いて貰ったおかげで、水生生物の調査が行える。

本流と右岸河川敷の間に小さい水路があるが、平成21年度以降はあまり使えない状況となっている。以前はカヌーを浮かべ遊んでいた。

今後、夏が盛りになるとジャブジャブ池から本橋までの区間が、小学生の遊び場となる。他にも小野の水辺の楽校とか遊び場があるが、どれ位利用されているか疑問がある。子供達の遊び場が少ないので、白坂総合堰から大崎橋までの区間で、小学生の遊び場を増えることを願う。

会長 他にはありませんか。

F委員 区域の話ですが、ある程度、川の中で用地が確保できる所、三谷川の下流の金波堰がある下流の広場が、全て国土交通省の土地ならば、そこが使えるのではないか。また、高水敷をどれ位整備できるのか。

左岸の白坂総合堰、ホタル川、養護学校、佐野堰付近まで高水敷が整備してあるが、右岸には未整備区間がある。昔の霞提方式なので整備が難しい。整備できればレクリエーション用地として活用できる。

人丸の上流に白坂公園があるが、例えば、一周回れば1kmとか市民に対して分かりやすく標識等で明示できれば使いやすくなるのでは。

会長 ありがとうございます。他にはありませんか。

G委員 先ほども紹介がありました小野水辺の楽校ですが、ここでは小さい子供も遊べる場所となっている。サイクリング道もあるので計画区域の中に入らなくても計画の中で紹介し、関連付けてもらえると良い。

会長 計画区域に関連付けるのは市の仕事なので、そちらで対応して貰う。

他にはありませんか。

H委員 佐波川だけの計画で終わってはいけない。天神山や白坂から天神山へと通じる道も活用できるような計画にして欲しい。

また、掘削箇所には、鮎のためにコケの付く岩が適所にあると良い。

- 計画策定後、この工事はどれ位の期間を要するのか。
- I 委員 掘削範囲ですが、水際残しで施工すると、毎年、除草の維持管理が必要となってくる。
- 白坂付近が小山になっている。天神山からのアクセスとして佐波川へ螺旋階段とか作って活用できるのではないか。
- まちからのアクセス道として、戎町迫戸線突き当たりの三叉路、ここから佐波川へアクセス道を造り、行き易くするとか、今後レイアウトは示されるのか。
- 会長 色々な意見が出ましたが、天神山の裏は生活環境保全林であり高齢者健康の道として既に整備されているので、市の林務水産課と連携を取り、一体的な観点からの整備をお願いしたい。
- 先程の質問でもあったが、計画策定後の実施期間について、事務局の回答をお願いします。
- 事務局 今年度、かわまちづくり計画を策定し、国に提出し採択されれば、平成26年度に詳細設計を行い、平成27年度から29年度の3カ年で実施する予定。
- J 委員 本日の協議会で計画区域を決定するのでしょうか。
- 会長 本日、決定するつもりはない。委員の皆様から頂いた意見や事業量も総合的に鑑みて、次回、事務局に計画案を提示してもらいたい。
- J 委員 委員の皆様の思いや考え方を述べられたわけですが、今までの話を聞いていると、ある程度、コンパクトな区域を設定しなくてはいけないと思う。水辺の楽校付近もいいが、計画区域に入れるのは難しい。
- 人丸橋から大崎橋までの区間に限定して議論を進めるとか、計画区域を先に決めた方が良いのでは。
- 会長 次回、今回頂いた意見を踏まえ、市の方で意見をまとめて計画案を提示して貰いたい。
- 次に、この地域にどんな施設が欲しいとかという意見を賜りたいと思います。河川の維持管理や施設を造る上で色々な制限がありますが、とりあえず積極的な意見を頂戴したい。
- F 委員 上和字に水害でここまで水位が来たという表示がある。昭和26年7月の豪雨災害で堤防が「ここで切れた」という表示をして欲しい。
- 昔の地図では、佐波川沿いの線路を単線から複線にする過程で、佐波川の砂利を採取した記録がある。このように歴史の面からも色々提案して欲しい。
- A 委員 現在の河川敷は幅が狭い。すぐに出来そうな施設として、駐車場、運動公園、親水施設が考えられる。また、河川プールのものも、何箇所か設置を検討して欲しい。
- 歴史的な面で「人丸の渡し」は、かなり昔からある。今の本橋には昔、舟橋があった。舟橋に似せた沈下橋を造るとか、人が対岸に渡れるような施設について色々検討して欲しい。
- 会長 有難うございました。色々な意見が出ましたが他にありませんか。
- B 委員 国土交通省に質問ですが、最近豪雨が多発しており、治水計画を優先する。

中州を撤去するのもそのような趣旨に沿っているが、人命優先の観点から方向付けとしてそのような形もあると思う。

国土交通省

国の事業としては、昭和19年より流下能力の確保として河川改修を続けている。天神山までは早くから直轄で工事を進めており、昭和41年に徳地まで進んでいるが、その上流はまだ、堤防がない区間がある。治水安全度を上げるために努力したい。

掘削の説明ですが、治水の計画に沿った掘削であり、その掘削を行うことにより治水安全度は上がる。また、掘削した状態を維持できるように伐採や浚渫を5年サイクルで行っている。

水辺の利用ですが、佐波川の河川敷は狭いので、洪水時に支障の無いものでなければ占用の許可はできない。例えば、高木は難しいが低木なら検討できる。

他市の事例で、広島では水辺に「カフェ」を設置している。占用許可準則を緩め、堤防上の広場に「カフェ」を認めている。高水敷を広げるとか河川プール等の要望があれば、検討したい。

K委員

佐波川近くにサイクリングターミナルがあり、宿泊施設や休憩施設もあり、管理人も常駐している。

佐波川で、カヌー等が出来るのであれば、カヌーの貸し出しや保管といったことも考えられる。目の前の川で水遊びが出来ればよいと思う。

L委員

自転車を利用しようとサイクリングターミナルに行ったら、古くて使えない自転車ばかりで、もう少し、まともな自転車を置けば、利用促進されると思う。

佐波川ですが、車の無い人でも行きやすく、子供と一緒に歩いて行けるようになれば良い。迫戸川から歩いて行け、子供が水に親しめるような川の整備を望む。京都で言えば「哲学の道」みたいなイメージ。

会長

この辺りでご意見は終了しますが、最後に個人の意見を述べさせていただきます。

子供の頃から思っていたが、県立衛生看護学院の跡地に佐波川に生息する魚を展示する水族館ができると子供が喜ぶ。本当の意味での母なる川との触れ合いが出来るのではないかと。

色々なご意見有難うございました。事務局は次回の協議会開催時、今回頂いた意見を集約した形で提案して貰いたい。

皆様、ご協力有難うございました。

それでは、予定していた議事を全て終えることができました。事務局に進行をお返ししたいと思います。